

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

「被災障がい者自立支援促進事業」 新規ウェブサイトのご紹介

いわき地域復興センターで取り組んでいる上記4事業のひとつ「被災障がい者自立支援促進事業」では、被災によって多くの社会的弱者が厳しい生活環境に立たされている現状を鑑み、従来地域生活を営んでいた障がいの方が、再び自立した生活を送れる地域環境を再生するため、作業所等のボランティア活動及び経済活動を支援しております。今回、新たに構築いたしましたサイトをご紹介します。



ウェブサイト名称：『いわきユニバーサル マルシェ』

- ♥「ユニバーサル」に込められた3つの想い
 - ①ユニバース：全世界の人へ発信したい。
 - ②ユニバーサルデザイン：障がいの有無に関わらず、あらゆる人に。
 - ③ユニバーシティ：地元の大学生が出来ることを考え、追求したい。
- ♥マルシェ：フランス語で「市場」の意

『すべての人がしあわせになるためのお店です。一つ一つに心を込めた手作りの食品をみなさまにご紹介いたします。』

■ サイト内 商品紹介ページ（一部抜粋）

サイト概要
商品一覧
お店紹介
オフィシャルサイト
関連サイト
サイトに関するお問合せ





しあわせみそ (p130313002)

販売価格(税込) **¥500**

原材料	大豆・米・塩
重量	1kg
放射能測定結果	不検出
商品お求め方法	こちらの商品は、「福島県授産事業振興会」ホームページよりご購入いただけます。 ※別ウィンドウが開きます。

<商品説明>
こうじがたくさん入った、昔ながらの手づくりみそです。1年間という長い年月をかけてじっくり寝かせましたので、とっても美味しいみそになりました。食べる人も作った人も、みんなでしあわせになれる「しあわせみそ」。ぜひご賞味ください。

授産商品のご紹介

商品の説明・お求め方法等を記載しています。ご紹介する授産商品を増やすことが出来るよう、今後もさらに活動を広げて参ります。


放射能測定結果報告書

製造した授産商品は、いわき明星大学にて放射能測定を行い、その結果を掲載しています。



■ 本サイトの目的

被災した障がい者が自立のために活動している作業所の事業安定化を主とし、各小規模作業所の授産商品をより多くの方に知っていただき、利用していただくことを目的としています。



5月29日に行われた本サイトプレリリースの様子

学生のレポート

東日本国際大学 福祉環境学部の学生が、授産施設へ取材に行き、サイトを更新しています。



つたえたい いわきの わたしたちの『ふくしなもの』福

第12回ミニ相談会 開催報告

いわき地域復興センターでは、5月24日に「放射線を測定してみよう！！～放射線について知ろう～」をテーマとして、第12回ミニ相談会を開催致しました。今回は、いわき明星大学の環境放射線測定室を会場に、放射線の測定実験を行いました。

1. 放射線測定体験 (1) GMサーベイメータを用いた放射線の測定

【実験1】放射線遮へい実験

【実験2】身近なものからの放射線測定と表面汚染密度 (Bq/cm²) の計算

(2) NaI(Tl)シンチレーション式サーベイメータを用いた放射線測定

【実験3】放射線源から距離を変えて線量当量率の測定

2. 交流タイム

講師と参加者同士が自由な意見交換を行いました。



<講師：田中 重成氏>



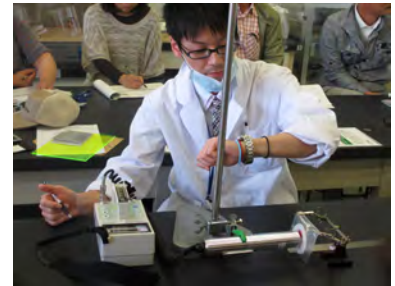
<実験1の様子>

今回の実験では、放射線を遮へいする物質の能力は、紙<アクリル<金属であることがわかりました。



<実験2で測定した試料>

身近にある意外なものに放射性物質（原発事故由来ではないもの）が含まれていることがわかりました。

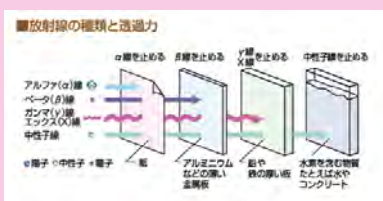


<実験3の様子>

放射線源からの距離が大きくなるに従って測定値（線量率）が減少していくことがわかりました。

♥放射能測定マメ知識①♥

放射線の種類は大きく分けてα(アルファ)線、β(ベータ)線、γ(ガンマ)線、X(エックス)線、中性子線に分けられ、各々物質を透過する能力が異なります。

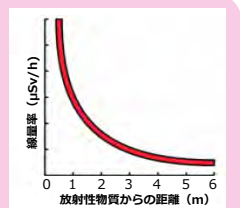


出典：電気事業連合会 原子力2011 コンセンサス

♥放射能測定マメ知識②♥

放射線の量は、放射線源が点線源（1つの場所にしか放射線源がない状態）の場合、距離の2乗に反比例して下がっていきます。

(例) 放射性物質と検出器との距離を5cmから20cmまで離せば、放射線量は16分の1となる
※地面に一樣に放射性物質が降り積もっているような場合は、この計算は成り立ちません



ミニ相談会は、放射能問題や復興に向けたさまざまなテーマで毎月1回開催しております。「ミニ」の名のとおり小人数制で、講師の先生と忌憚のない意見交換のできる場となっています。お気軽に、いわき地域復興センターまでお問い合わせください。

第14回：7月20日(土)「基礎から学ぶ放射線と放射能」

第15回：8月8日(木)「霧箱を作ってみよう！～放射線を見てみよう～」

学校給食の牛乳を測定をしています

このたびいわき地域復興センターでは、いわき市教育委員会さんより依頼を受け、いわき市学校給食(小・中学校)用牛乳の放射能検査に協力することとなりました。これまでも給食やプールの水等の検査も行ってきました。検査は、いわき明星大学環境放射線測定室で行われます。

尚、測定結果はいわき市のホームページにてご覧になれます。

- いわき市ホームページトップ <http://www.city.iwaki.fukushima.jp/>
- いわき市教育委員会→教育委員会事務局→学校支援課
- 学校給食における放射性物質検査の結果について



- ①業者さんから牛乳を受け取るようす
- ②牛乳を検査容器にうつしているようす
- ③放射線測定器(ゲルマニウム半導体検出器)にて測定しています

いわき地域復興センターでは、放射能検査を行っています

一般市民の方、事業者の方を対象にした各種放射能検査を行っています。お気軽にご利用下さい。

【お問い合わせ】いわき地域復興センター

☎0246-38-7132



文部科学省
平成23年度大学等における
地域復興のためのセンターの機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134

URL <http://www.revive-iwaki.net/>



● 過去の情報やセンターの詳しい活動内容はHPをご覧ください。 ●